

行政事業レビューにかかると行動計画

I. 基本的な考え方

厚生労働省においては、従来から予算監視・効率化チームを中心として行政事業レビューを推進しており、このうち公開プロセスについては、省独自の取組として、平成22年4月に設置した厚生労働省事業仕分け室を活用して実施した。

平成24年度においても、行政刷新会議と連携しながら、予算監視・効率化チームを中心として行政事業レビューを進めるとともに、厚生労働省事業仕分け室を活用して、公開プロセスを実施する。

併せて、厚生労働省独自の省内仕分けにも取り組む。

II. 実施体制

行政事業レビューは、予算監視・効率化チームのリーダーである牧副大臣を責任者に、同チームのサブリーダーである藤田政務官を副責任者として実施する。また、公開プロセスの実施に当たっては、厚生労働省事業仕分け室も活用して実施する。

1. 予算監視・効率化チーム（以下「チーム」という。）

- (1) チームリーダー：牧副大臣、サブリーダー藤田政務官
- (2) 事務局長：官房長、事務局長代理：総括審議官、政策評価審議官
- (3) 外部有識者：長崎武彦（公認会計士）、井出健二郎（和光大学経済経営学部教授）
- (4) チームメンバー：各部局総務課長等

2. 厚生労働省事業仕分け室（以下「事業仕分け室」という。）

- (1) 事業仕分け室長は、総括審議官とする。
- (2) 事業仕分け室長に、大臣官房参事官（総務担当）、大臣官房参事官（会計担当）及び政策評価官を加え、総括チームとする。
- (3) 省内の各部局や地方支分部局等は、事業の実態把握（行政事業レビューシートを作成や現地調査の支援）など事業仕分け室の取組みに協力する。
- (4) 事務局は、省内の各部局の協力を得ながら、大臣官房総務課、大臣官房会計課及び政策評価官室が担う。

Ⅲ. 行政事業レビューの取組み

1. 事業の実態把握

(1) 事業単位の整理

厚生労働省の平成23年度の事業について、4月中旬までに点検の対象となる事業の単位（以下「事業単位」という。）を整理する。

(2) 行政事業レビューシートの作成

事業所管部局は、事業単位毎に行政事業レビューシートを作成し、事業の実施状況や予算の支出先及び用途などの実態を把握する。

(3) 行政事業レビューシートの公表

行政事業レビューシートは、公開プロセスの対象となる事業については、原則として公開プロセスの開始日の10日前までに、その他の事業については7月上旬までに、厚生労働省HPにおいてそれぞれ公表（中間公表）し、国民からの意見募集を行う。

(4) 行政事業レビュー対象事業以外の事業の取扱

行政事業レビュー対象事業以外の次に掲げる事業についても、事業の自己点検や、4で示す取組を行うため、行政事業レビューシートに記入可能な事項を記入の上、公表する。

①平成24年度新規事業

平成23年度の事業と同時期に中間公表及び最終公表を行う。

②平成25年度新規要求事業

概算要求提出後、2週間以内を目途に公表を行う。

2. 自己点検（事業見直し案の検討）

事業の実態を踏まえ、それが本来の事業目的と合致しているか、真に効率的・効果的な支出となっているかなど、事業所管部局が政策評価との関連性にも留意しながら、自己点検を実施する。

3. 公開プロセスの実施

事業の実態や自己点検結果を踏まえ、外部有識者を交えて公開プロセスを実施する。

(1) 公開方法

- ・ 一般からの傍聴者を募る。
- ・ 議事録は、後日、速やかに公開する。

(2) 外部有識者

行政刷新会議が指名するコーディネーターの他、厚生労働省が選定した外部有識者3名に、行政刷新会議が指定する外部有識者3名を加える。

(3) 事前勉強会及び現地ヒアリングの実施等

公開プロセスの実施に先立ち、外部有識者に対し、公開プロセス対象事業に係る事前勉強会及び現地ヒアリングの機会を随時提供すると

ともに、資料の提供、現地ヒアリングの実施等の要請があった場合には、適切に対応を行う。

4. 結果の公表、概算要求への反映

公開プロセスの結果を踏まえ、公開プロセスにかからない他の事業についても、レビューを実施するとともに、公開プロセス結果の視点も踏まえ、必要な横断的見直しを行うなどして、その結果を平成25年度予算の概算要求に反映させ、公表する。また、これを組織や制度の見直しにも活用していくこととし、適切に予算執行にも反映させることとする。

5. 行政事業レビューの実効性向上のための施策

国民や職員からの意見・提言募集、人事評価への反映など、行政事業レビューの実効性を高め、その向上に資する施策について、積極的に取り組む。

(1) 国民や職員からの意見・提言募集

行政事業レビューについて、インターネット等を活用し、国民や職員からの意見・提言を募集し、有効なものについては取組として実践する。

(2) 人事評価への反映

人事評価の目標設定に当たって、「コスト意識・ムダ排除」の視点から、予算執行の効率化に関する取組を盛り込む。

IV. 今後のスケジュール（予定）

4月～	公開プロセス対象事業の選定
5月中旬～	公開プロセス対象事業のレビューシートを公表、国民からの意見募集
5月下旬～ 6月下旬	公開プロセスを実施
6月下旬～	公開プロセスにかからない他の事業のレビューシートを公表、国民からの意見募集 行政事業レビューの結果を概算要求に反映
8月下旬	予算監視・効率化チーム会合
8月末	概算要求、レビューシート最終版を公表